



きわめ人の談話室



恋愛起業家
大木 隆太郎さん

株式会社TOBE代表取締役社長として恋愛情報サイト“愛カツ” (<https://aikatu.jp>) をプロデュース。恋愛・婚活領域のノウハウをインターネット事業に展開。プロデュースした複数の恋愛情報サイトは約1年で月間160万UU、月間1400万PVを突破し、多くの女性に支持されている。街コン仕掛人。

恋愛力が日本を救う

合コンが激減、 失恋経験のない若者たち

厚生労働白書によれば2035年には男性の29%が生涯独身*になると予測されていて、少子化対策は日本の喫緊の課題の一つです。解決のためにはまずファミリーを増やす必要があります、その前提が恋愛になります。しかし、今の若い子たちはまず飲み会や合コンをしないので出会いの場がない。経済的な理由が一つで男性が女性におごれなくなったこと。もう一つはパソコンやスマホで満たされてリアルな恋愛に臆病になってしまっていることがあります。失恋経験がないからLINEで既読無視されるとたちまち絶望感に襲われるくらいどうしようもなくメンタルが弱くなってしまっているんです。

そこで私は“恋愛したいけどできない人”を応援すべく男女の出会いの場「街コン」を仕掛け、過去の参加者は累計100万人を突破しました。最近ではスマホで相手を探すマッチングアプリが主流ですが、恋愛だって競争社会。恋愛弱者たちのための各種恋愛サービスの活用法や望む相手と出会うノウハウ、恋愛相談とその解決法などを自社のメディアから発信しています。

※出典：厚生労働省「平成26年版厚生労働白書～健康・予防元年～」

子ども世代から恋愛の文化を育てよう

恋愛はスキルです。大人になっていきなり恋愛といっ

てもうまくいきません。若いうちからコミュニケーションスキルや恋愛スキルをいかに高められるかが、30歳を超えてからの婚活にも影響します。だから僕は勉強と同じで小中高からデートの仕方や恋愛の作法を教えるべきだし、アメリカのように卒業パーティは男女ペアでの参加がルールといった文化を育てるべきだと思います。恋愛スキルを高めることがより良いパートナーと出会う可能性を高めるのです。また離婚率を減らすには結婚前に一緒に暮らしてみることも大事。恋人関係の時は理想像で相手を見ますが、一緒に暮らすと現実が直視できます。それを受け入れられれば将来の離婚の可能性も低くなるはず。「お金がないから結婚できないし、子どもも持てない」というのも違うと思います。日本なら何とか生きていけます。日本を救うのは恋愛の力です。



大木さんがプロデュースする恋愛情報サイト愛カツ (<https://aikatu.jp>)